

臨床工学室

岡田俊樹

1. 臨床工学室スタッフ

- ・岡田俊樹（医師、麻酔科長、手術部長、臨床工学室長）
- ・宮川幸恵（主任臨床工学技士）
（体外循環技術認定士、透析技術認定士、日本体外循環技術医学会代議員、日本体外循環技術医学会近畿地方会役員、大阪府臨床工学技士会学術委員）
- ・峰松佑輔（主任臨床工学技士）
（血液浄化専門臨床工学技士、急性血液浄化認定指導者、アフレスリス学会認定技士、透析技術認定士、大阪府臨床工学技士会学術委員、全国国立病院機構臨床工学技士協議会理事、関西急性血液浄化技術ミーティング代表幹事）
- ・湊拓巳（臨床工学技士）
（体外循環技術認定士、透析技術認定士）
- ・藤井順也（臨床工学技士）
（臨床検査技師、BLS Healthcare Provider）
- ・池宮裕太（臨床工学技士）
- ・柴田純一（臨床工学技士）

2. 概要

臨床工学室は、生命維持管理装置の管理・操作を中心に業務を行っている。また、医療安全の観点より日々の生命維持管理装置の動作点検を行い医療安全の向上に貢献している。

a. 手術室部門

心臓血管外科手術における人工心肺装置および周辺機器の管理、操作業務について週3回の定時手術のほか、off pump CABG や腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術では自己血回収装置や周辺機器の管理・操作を行っている。

b. 循環部門

手術室・心臓カテーテル室・初療室・各種集中治療室における経皮的心肺補助装置（PCPS）・大動脈内バルーンパンピング（IABP）の管理、操作業務を行っている。また、定期的に病棟を巡回し動作点検を行っている。この巡回業務は、補助循環療法の事故防止の観点から大きな成果を上げている。

c. 血液浄化部門

人工腎室に臨床工学技士1名を常駐させ、入院患者を対象とした各種血液浄化装置の管理・操作業務を行っている。また、重症患者に対しては集中治療室にて、持続緩徐式血液透析濾過療法などの各種急性血液浄化療法の管理・操作を行っている。

d. ME 機器部門

一般病棟および集中治療室で使用する人工呼吸器の日常点検と物品管理を行っている。また、一般病棟および集中治療室に貸し出された全ての人工呼吸器が正常に作動しているか、毎日、使用病棟を巡回し、人工呼吸器の動作点検を行っている。この巡回業務は機械的人工呼吸療法時の事故防止の観点から大きな成果を上げている。

e. 教育・研修

生命維持管理装置（人工呼吸器、IABP、PCPS、CHDF）の院内向けの勉強会を定期的実施している。臨床工学室内の教育体制としては、新人教育プログラムなどを設けるとともに、認定士資格取得に向けたスキルアップ教育も行っている。

3. 業務実績

手術室部門

人工心肺症例数：79 件

補助循環部門

PCPS 症例数：26 件

IABP 症例数：25 件

血液浄化部門

血液透析（HD or HDF）：1581 件

持続的血液浄化（CHDF）：470 件

単純血漿交換（PE）：28 件

二重濾過膜血漿交換（DFPP）：8 件

エンドトキシン吸着（ET-A）：28 件

腹水還元濾過療法（CART）：18 件

末梢血幹細胞採取（PBSCT）：6 件

a. 教育・研修

臨床実習生 4 名受入れ

b. 院内勉強会の実施

開催回数：13 回、参加人数延べ 371 人

（詳細省略）

【2014 年度研究発表業績】

A-1

峰松佑輔：モニタ類「臨床工学技士のための血液浄化療法フルスペック」第 1 版、金小岩和、p.204-212、MEDICAL VIEW 社、2014 年 9 月

A-4

宮川幸恵：Dengerousn Number 01 呼吸数「HEART nursing」、27（12）：p6-7、メディカ

出版、2014年12月

宮川幸恵 : Dengerousn Number 02 分時換気量、一回換気量「HEART nursing」、27 (12) : p8-9、メディカ出版、2014年12月

宮川幸恵 : Dengerousn Number 03 気道内圧「HEART nursing」、27 (12) : p10-11、メディカ出版、2014年12月

A-5

湊拓巳、峰松佑輔、藤井順也 : ユビキタスシステムの補助循環装置への応用。循環器病研究振興財団 日本光電循環器病研究助成事業「ユビキタスシステムの補助循環装置への応用」平成25年度主任・分担研究報告書、p.209-214、2015年2月

B-3

峰松佑輔 : 血漿成分分画器 (Evaflux5A, EC-50W) の濾過分離特性と安全な血漿処理量の設定。第35回日本アフェレシス学会、東京、2014年9月

江口圭、金子岩和、山本健一郎、峰島三千男、管野仁、秋葉隆、峰松佑輔 : 新しいCART (Washed-CART) の提案とその実機に向けた取り組み。第35回日本アフェレシス学会、東京、2014年9月

B-4

池宮裕太、峰松佑輔、湊拓巳、藤井順也、柴田純一、倭成史、伊藤孝仁、岡田俊樹 : 腹水濾過濃縮再静注時の発熱コントロールの可能性。第24回日本臨床工学会、宮城、2014年5月

藤井順也、宮川幸恵、峰松佑輔、湊拓巳、池宮裕太、柴田純一 : PCPS システムにおけるキャビテーションによる気泡発生の検討。公益財団法人 循環器病研究振興財団平成26年度研究発表会、大阪、2014年12月

B-5

峰松佑輔 : クリティカルケア領域における血液浄化のポイント。神戸肝移植フォーラム2014、兵庫、2014年6月

峰松佑輔 : 診療報酬改定にともなう集中治療分野での臨床工学技士の将来。大阪府臨床工学技士会 第1回卒後教育セミナー、大阪、2014年9月

B-6

柴田純一、峰松佑輔、宮川幸恵、湊拓巳、藤井順也、池宮裕太、倭成史、伊藤孝仁、岡田俊樹：DFPPによる低フィブリノーゲン血症を回避した安全で効果的な血漿処理量の検討。第83回大阪透析研究会、大阪、2014年9月